

出題意図・解答のポイント

研究科	外国語教育学研究科
課程	博士課程前期課程
入試種別	一般・社会人入学試験
筆記試験科目	外国語(各言語)

本研究科博士課程前期課程の筆記試験は、受験者が博士前期課程における勉学に必要な外国語運用能力を有しているかどうかを判断することを目的としており、専門的な知識や特定の特性を問うものではない。筆記試験は、対象言語の読解力、要約力、批判的思考力、および対象言語による意見表現能力を総合的に評価する。

試験問題は最新の学術的なテーマや、対象言語における基礎的運用能力で理解可能なテキストを取り上げる。解答においては、まずテキストの趣旨を的確に把握し、著者が提示する主張や議論の流れを正確に理解し、日本語で簡潔に要約することが求められる。要約の評価基準としては、内容の適切さを重視し、必要な情報が不足している場合や間違っている場合は減点対象となる。

また、意見を述べる際には、単に個人的な感想を述べるのではなく、本文の内容を批判的に分析した上で論理的に展開する必要がある。テキストの内容を正しく理解せずに、トピックに関する一般的な意見を述べた場合は、採点の対象外とする(英語以外の対象言語では、基本的な文の作成を求められることもある)。

意見表明では、序論・本論・結論の明確な構成を取り、主張を適切な論拠に基づいて展開し、説得力のある外国語表現を用いることが重視される。特に、学術的議論において求められる専門用語の適切な使用、文法的な正確性、語彙の多様性と適切さ、論理的な一貫性も評価の対象となる。

これらを通じて、受験者が大学院レベルでの研究活動や学術的議論に必要な基礎的能力を備えているかを判断し、専門的な研究を遂行するための資質を見極めることが、この試験問題の主な出題意図である。

出題意図・解答のポイント

研究科	外国語教育学研究科
課程	博士課程前期課程
入試種別	外国人留学生入学試験
筆記試験科目	外国語(日本語)

本研究科博士課程前期課程の外国人留学生入学試験における筆記試験(日本語)では、受験生が大学院レベルの学術的な活動に必要とされる日本語能力を備えているかどうかを評価することを目的としている。試験問題は、読解力、語彙力、文法力、表現力、作文力など、総合的な日本語運用能力を測るために、多様な形式で構成されている。

読解問題では、与えられた文章の内容理解や適切な接続詞・副詞の選択、語彙や表現の知識を問う設問を通して、受験生がテキストを正確に把握できるかを確認する。また、漢字の読み書き問題を通じて、日本語の表記能力や語彙の深さを評価する。

さらに、本文の内容に関する具体的な設問に答えさせることで、受験生が論理的な思考力を持ち、文章の趣旨や背景を的確に理解し説明できるかを判断することを意図している。また、穴埋め問題や文法問題では、受験生が日本語特有の表現や文法構造を適切に使いこなせるかを評価する。

作文問題においては、自分の経験や意見を的確かつ明確に表現する能力を見ることを目的としている。論理的な構成力、表現の正確性や多様性、文法的な整合性を総合的に評価し、受験生が大学院での学術的活動において必要となる実践的な日本語能力を持っているかを判断する。

これらを通じて、受験生が日本語での学術的活動に必要なコミュニケーション能力を有していることを確認し、本研究科での学修・研究活動に適應できるかどうかを総合的に評価することを、本試験の出題意図としている。

出題意図・解答のポイント

研究科	外国語教育学研究科
課程	博士課程後期課程
入試種別	一般・留学生・社会人入学試験
筆記試験科目	外国語(各言語)
<p>本研究科博士課程後期課程の筆記試験は、受験者が博士後期課程における勉学に必要な外国語運用能力を有しているかどうかを判断することを目的としており、専門的な知識や特定の特性を問うものではない。筆記試験は、対象言語の読解力、要約力、批判的思考力、および対象言語による意見表現能力を総合的に評価する。</p> <p>試験問題は、最新の学術的なテーマや、対象言語における基礎的運用能力で理解可能なテキストを取り上げる。解答においては、まずテキストの趣旨を的確に把握し、著者の主張や議論の展開を正確に理解した上で、日本語または対象言語により簡潔に要約することが求められる。要約の評価基準としては、内容の的確さが重視され、必要な情報が欠けている場合や誤りがある場合は減点の対象となる。また、意見を述べる際には、単なる個人的な感想ではなく、本文の内容を批判的に分析し、論理的に展開する必要がある。テキストの内容を正しく理解せず、トピックに関する一般的な意見を述べた場合は、採点の対象外とする(英語以外の対象言語では、基本的な文の作成を求められることもある)。</p> <p>意見表明においては、与えられたトピックについて対象言語でのライティング能力が測定される。ここでは、序論・本論・結論という明確な構成を取り、主張を適切な論拠に基づいて展開し、説得力のある外国語表現を用いることが求められる。特に、学術的議論において必要とされる専門用語の適切な使用、文法的正確性、語彙の多様性と妥当性、そして論理的な一貫性が評価の対象となる。</p> <p>これらを通じて、受験者が大学院レベルでの研究活動や学術的議論に必要な基礎的能力を備えているかを判断し、専門的な研究を遂行するための資質を見極めることが、この筆記試験の主たる目的である。</p>	